



学校通信

No. 19 令和3年2月24日(水)

篠栗北学園 篠栗町立篠栗北中学校 校長 橋 口 公 一

創 練 自 校
造 磨 立 訓



学校ホームページ

1 次年度の生徒会活動に向けて 第1回 生徒総会議案審議

3月5日(金)に行われる生徒総会に向けて、1, 2年生は各学級で議案審議を行いました。新生徒会役員は、生徒総会を開催するにあたり、毎日、昼休み、放課後と話し合いをしたり、原案を作成したりと準備をしてきました。これは、これから後も続きます。では、みなさんは何をしますか? 篠栗北中学校をよりよくしていくために、自分自身が、生徒会の一員であるという自覚をもち、議案書をしっかりと読んで、建設的な質問、意見を出してください。意見を述べている人の考えをよく聴いてください。

どんな学校をつくっていくのか、みなさん一人一人の意識と行動にかかっています。

2 自ら「問い」をもって学び続け、学びを地域に発信する生徒の育成 防災教育 卓上防災訓練の実施!

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、例年行っている避難訓練が実施できないため、各学級で、「篠栗町で連日大雨が降った場合の通学路の危険箇所」について全員で確認し、災害に備えた中学生としての心構えを学習しました。新学習指導要領の総則には、「豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成すること」の必要性が述べられています。授業では、まず、東日本大震災時の「釜石の奇跡」といわれている、「生徒が学んだことを常に意識し、普段から地域住民と交流したり避難について呼びかけたりしていたことから多くの命が助かった」事例を紹介し、中学生は避難するだけでなく、地域のお年寄りの方や幼い子の命を守る立場であることや避難所運営にも携わる役目があることを意識して臨みました。危険箇所については、実際の場所をストリートビューで確認したり、先日、学校に届いたばかりの電子黒板を活用してどんな危険があるかなどを書き込んだりしました。防災教育の本質は、得た知識や実践を生活の場である地域に広め、還元することです。今後、地域と連携しながら、どう実生活に生かし、行動していくか、学習を深めていきたいと思ひます。

3 学校・地域・家庭が一体となった取組の充実

ペシャワール会への募金活動に御協力をお願いします!

昨年度末、旧生徒会役員が、「一人ひとりがプロジェクト」を企画し、例年行っていた親子リサイクル活動に替わる取組を提案、実施しました。PTAの方の多大なる御協力もあり、わずかではありましたが収益がありました。その分とPTAからの補助金、そして、今回、新生徒会役員が行っている募金活動により、今年度も、ペシャワール会へ寄付をしたいと考えています。この取組は、平成23年度の生徒会役員が、社会貢献をしたいと考え、始まったものです。その伝統を受け継ぎ、今年度は、中村哲氏やその事業について、新生徒会役員が放送で呼びかけたり、掲示物を作成したりしています。みなさん、ぜひ御協力ください。



【学級審議の様子】



【ICTを活用した卓上防災訓練の様子】



【ペシャワール会への募金活動】

第30回福岡県中学校 美術展 「美を讃えて」 入選おめでとう!

3年1組

城戸 寛子さん 濱福 理央さん 原田 隼汰さん

3年2組

高田 美姫さん 竹井 沙愛良さん 辻 穂乃花さん

3年3組

寺島 皓生さん 前田 希空さん 前田 羽澄さん 前原 乙輝さん
吉川 綾夏さん 吉田 麗央さん

2年1組

大村 澪さん 永山喜一さん

2年2組

田中 友芽さん

2年3組

上杉 姫奈さん